

# 啄木学級 文の京講座 応募方法

定員 300名 (うち文京区在住・在勤・在学者 180名)

\*応募が定員を超える場合は抽選

受講料 無料

締切日 6月9日(金) 消印有効

往復ハガキ(1枚につき2名まで)に必要な事項(記入例参照)をご記入の上で応募ください(文京区在勤・在学の方はその旨を記載)。

※電話・FAX・E-mail等での応募はできません。

※結果発表は返信ハガキの発送をもって代えさせていただきます。

申込先 〒020-0871 盛岡市中ノ橋通一丁目1-10  
(公財)盛岡観光コンベンション協会「啄木学級」係

## 往復はがき記入例

郵便往復はがき

63 日本郵便 NIPPON

⑤郵便番号

⑦氏名

⑥住所

①「啄木学級」申込

②郵便番号・住所

③氏名(ふりがな)  
(2名の場合は必ず連名で記載ください)

④電話番号

返信用宛名にご自身の住所・氏名の記入をお忘れなく!!

郵便往復はがき

63 日本郵便 NIPPON

020 0871

盛岡市中ノ橋通一丁目1-10

盛岡観光コンベンション協会  
「啄木学級」係

※ここには何も書かないでください。

## 石川啄木 本名 石川 一(はじめ)

1886年(明治19年)2月20日、南岩手郡日戸村(現・岩手県盛岡市)の常光寺で生まれ、翌年、寺の住職である父親に伴い、浪民村(現・盛岡市浪民)の宝徳寺に移り住む。1902年、盛岡中学校を中退して上京し、小日向台町(現・文京区首羽)に下宿。与謝野鉄幹・晶子夫妻から文学の指導を受ける。病を得て故郷へ戻り、1904年、詩集刊行を目的に上京。向ヶ丘生町(現・文京区弥生)に居留し、翌年、処女詩集『あこがれ』を出版。同年、盛岡市に戻り、新婚生活を営みながら、文芸雑誌『小天地』を発行。1906年、浪民尋常高等小学校の代用教員となるが、教師生活を1年間で終え、翌年5月、北海道へ渡る。各地を漂泊のち、新たな文学活動の展開を願い、1908年4月に上京し、同郷の先輩・金田一京助を頼りに、菊坂町の赤心館、その後、森川町の蓋平館別荘(ともに現・文京区本郷)に下宿。翌年6月、家族を迎えて弓町(現・文京区本郷)の喜之床(現・新井理髪店の地)に移る。一生に二度とは帰って来ないのちの一瞬を惜しみ、また、故郷への想いを短歌に表して、1910年12月、歌集『一握の砂』が出版された。自由な作風と三行書きの特徴をもつ短歌は、当時の文壇の人々を驚かせた。1912年(明治45年)4月13日、肺結核のため、久堅町(現・文京区小石川)にて26歳2か月の生涯を閉じた。2か月後、『悲しき玩具』が発行された。

## 啄木終焉の地歌碑と顕彰室(文京区)



石川啄木が生涯を閉じた文京区小石川5丁目、2015年3月、啄木終焉の地を記念する歌碑と顕彰室が完成しました。

歌碑には、啄木の故郷・盛岡市の姫神山で採掘された花崗岩(姫神小桜)が使われ、啄木が最後に詠んだ2首の歌が直筆原稿から陶板で再現されています。

また、歌碑に隣接する介護施設内に設けられた顕彰室には、石川啄木記念館(盛岡市)提供の写真や年表、直筆原稿や書簡のレプリカなどが展示されています。

開室時間 9:00~17:00(年末年始、特別閉室時を除く)

所在地 東京都文京区小石川5-11-8

交通 東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅下車 徒歩7分

<https://www.city.bunkyo.lg.jp/bunka/kanko/spot/ato/kensyousitu.html>

### 「盛岡デー・イン・東京」イベント案内

会期:令和5年7月6日(木)~7月10日(月)

内容:首都圏のみならず、盛岡の文化・観光・物産などの盛岡ブランドを紹介するとともに、食品や工芸品などの盛岡・岩手の特産品を販売します。

会場:①イオンスタイル板橋店(東武東上線 東武練馬駅 徒歩2分)  
②「啄木学級文の京講座」会場(7月7日(金)のみ)

【お問い合わせ】盛岡デー実行委員会 TEL:(019)626-7538  
(盛岡市役所商工労働部ものづくり推進課内)

## 石川啄木記念館(盛岡市)



【大規模改修工事及び増築工事による休館のお知らせ】

石川啄木記念館は、大規模改修工事及び増築工事のため下記の期間、休館します。皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いたします。

休館予定期間:令和5年5月11日(木)~令和6年6月まで

【巡回ミニ展示「石川啄木~26年2ヶ月の生涯~」】

石川啄木の生涯や東京での足跡についてパネルでご紹介します。

場所:①姫神ホール エントランス ②もりおか歴史文化館 1階祭り企画展示室 ③姫神ホール エントランス

料金:無料

期間:①5月26日(金)~6月30日(金) ②11月22日(水)~令和6年1月12日(金) ③令和6年1月26日(金)~2月29日(木)

〒028-4132 岩手県盛岡市浪民字浪民9

TEL 019-683-2315 FAX 019-683-3119

<https://www.mfca.jp/takuboku/>

## もりおか啄木・賢治青春館(盛岡市)



1910年(明治43年)に竣工した旧第九十銀行を保存活用し、啄木と宮沢賢治が青春を育んだ盛岡の街と2人の青春時代を紹介しています。

展示ホールでは随時企画展を開催しています。

【国指定重要文化財】

開館 10:00~18:00(最終入館17:30)

\*展示ホール「喫茶あこがれ」~17:00

\*ミュージアムショップ ~17:30

休館 毎月第2火曜日、年末年始(12月29日~1月3日)

入館料 無料

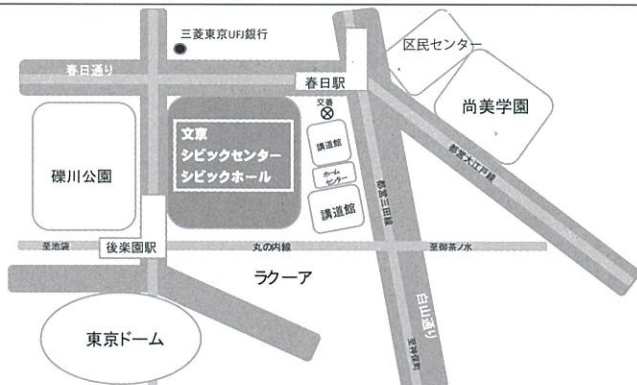
〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1-25

TEL・FAX 019-604-8900

<https://www.odette.or.jp/seishunkan/>

## 会場までの交通アクセス

- 東京メトロ「後楽園」駅  
丸ノ内線(4a・5番出口)・南北線(5番出口)  
徒歩1分
- 都営地下鉄「春日」駅  
三田線・大江戸線  
(文京シビックセンター連絡口) 徒歩1分
- JR総武線「水道橋」駅(東口) 徒歩9分



※各施設の開館時間等は変更になる場合がございますので、最新の情報は各ホームページ等でご確認ください。